

1. 科目名（単位数）	アートセラピー特論（2 単位）	3. 科目番号	PSMP5271
2. 授業担当教員	鈴木 康明		
4. 授業形態	講義	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態（通信教育）	
7. 講義概要	芸術療法の持つ、診断的、教育的の二点の機能を学ぶ。前者は、心理アセスメントのことであり、投映描画法テストバッテリーを取り上げる。後者は、予防、開発的機能のことであり、表現芸術療法としてコラージュと描画を取り上げる。なお臨床心理行為は、かかわる側の人間性や価値観が強く反映するきわめて人間くさいものであることから、臨床心理学的知見の獲得と並行し、自らのあり方や考え、人間関係における癖などについての理解も求める。		
8. 学習目標	1 芸術療法の理論的枠組みと代表的な技法の概要及び実際の展開について理解する。 2 自らの性格傾向を理解するための努力をする。 3 社会的課題に対する芸術療法の役割について具体的に考察する。		
9. アサインメント（宿題）及びレポート課題	単元ごとに小論文を作成するが、内容や書式などの詳細については講義中に指示する。		
10. 教科書・参考書・教材	【参考書】 飯森真喜雄編『芸術療法』日本評論社、2011 山中康裕編著『表現療法』ミネルヴァ書房、2003 小野京子著『表現アートセラピー入門』誠信書房、2005		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 実践を前提とする理論的枠組みを正確に理解する。 ○評定の方法 レポート 60%、講義への参加度 40%		
12. 受講生へのメッセージ	演習と文献講読も行う。		
13. オフィスアワー	別途通知する。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	芸術療法の診断的機能①		
【学習の目標】	芸術療法の持つ診断的機能の概要を理解する。		
【学習の内容】	講義		
【キーワード】	個別性、独自性、価値観		
2. テーマ	芸術療法の診断的機能②		
【学習の目標】	投映描画法テストバッテリーについて理解する。		
【学習の内容】	講義、演習		
【キーワード】	テストバッテリー		
【参考文献】	『星と波テスト入門』川島書店		
3. テーマ	芸術療法の診断的機能③		
【学習の目標】	描線について理解する。		
【学習の内容】	講義、演習		
【キーワード】	筆跡		
【参考文献】	『星と波テスト入門』川島書店		
4. テーマ	芸術療法の診断的機能④		
【学習の目標】	星と波テストについて理解する。		
【学習の内容】	講義、演習		
【キーワード】	星と波テスト		
【参考文献】	『星と波テスト入門』川島書店		
5. テーマ	芸術療法の診断的機能⑤		
【学習の目標】	バウムテストについて理解する。		
【学習の内容】	講義、演習		
【キーワード】	バウムテスト		
【参考文献】	『バウムテスト』川島書店		
6. テーマ	芸術療法の診断的機能⑥		
【学習の目標】	ワルテック描画テストについて理解する。		
【学習の内容】	講義、演習		
【キーワード】	ワルテック描画テスト		
【参考文献】	『ワルテック描画テスト』川島書店		

7 . テ ー マ	芸術療法の診断的機能の実際
【学習の目標】	投映描画法テストバッテリーについて実践的に理解する。
【学習の内容】	講義、演習
【キーワード】	投映描画法テストバッテリー
8 . テ ー マ	芸術療法の教育的機能①
【学習の目標】	表現芸術療法について理解する。
【学習の内容】	講義、演習
【キーワード】	イメージ、想像力
9 . テ ー マ	芸術療法の教育的機能②
【学習の目標】	描画法について理解する。
【学習の内容】	講義、演習
【キーワード】	なぐり描き法
10～11.テーマ	芸術療法の教育的機能の実際①
【学習の目標】	コラージュ療法について理解する。
【学習の内容】	講義、演習
【キーワード】	コラージュ
【参考文献】	『コラージュ療法入門』創元社
12～13.テーマ	芸術療法の教育的機能の実際②
【学習の目標】	コラージュ療法の理論と実際について学習する。
【学習の内容】	演習
【キーワード】	コラージュ、グループコラージュ
【参考文献】	『コラージュ療法入門』創元社
【学習する上での留意点】	のり、ハサミ、カッター、切り取ってよい雑誌やパンフレット、マンガなどを持参すること。
14 . テ ー マ	芸術療法の教育的機能③
【学習の目標】	身体表現について理解する。
【学習の内容】	講義、演習
【キーワード】	ダンス
【学習する上での留意点】	動きやすい服装で出席すること。
15 . テ ー マ	まとめ（研究発表にかえる場合もある）
課題をまとめる。場合によっては箱庭療法体験学習。	